

I 実践

1 実践テーマ

自分を大切にするとともに他の人の大切さを認めることができる生徒の育成

2 活動目標

- (1) 人間の尊さを理解し、差別や偏見のない明るい社会をつくることの大切さを認識できるようにする。
- (2) 人権意識を高め、差別や偏見をなくし、誰もが生きがいのある生活を送ることの大切さを理解し、実践できるようにする。

3 実践内容

(1) 学校教育全体を通した実践

ア あいさつ運動

生徒会やJRC委員会に所属する生徒を中心に年間を通して校内で「朝のあいさつ運動」を行っている。また、「さわやかマナーアップあいさつ運動」では、学区の小学校2校へ出向き、あいさつ運動を行っている。生徒同士だけでなく、地域の方にあいさつをすることで、地域の方と豊かな人間関係を形成する機会としている。

イ 「人権啓発ポスター」の掲示

昇降口等、生徒の目に入りやすい場所に「人権啓発ポスター」を掲示し人権意識の啓発を図っている。

ウ 夏休みの課題の出品

人権について考える機会として、夏休みに人権作文や書道コンクール等の課題を出し、コンクールに出品した。

エ 各種調査による意識づけ

毎月の生活アンケートを行うことを通し、いじめや学校生活に関する悩み等を把握し、学校全体でいじめ撲滅への意識を高めた。

オ ボランティアへの参加

例年、JRC委員会を中心に年間10回以上ボランティア活動の希望者を募集し、全校生徒が年間1回以上自主的にボランティアに参加している。例年、外部が中心となるものとして、宮田学区コミュニティ推進会が毎月第2土曜日に実施している「土曜学校」や6月と10月には学校近隣の宮田川清掃に参加している。今年度は感染症の影響があり、中小路地区の清掃活動のみの実施となった。約40名の生徒達が地域の方々と清掃活動に熱心に取り組みボランティア活動を通して、奉仕する心や協力し合う態度を養う機会となった。



【中学校でのあいさつ運動の様子】



【小学校区でのあいさつ運動の様子】



【中小路学区清掃活動の様子】



【人権啓発ポスターを掲示している様子】

カ 「いのちの教育」の実施

毎年、3年生を対象に「いのちの教室」を実施する。講師の先生を招き、生命の誕生や性感染症についての話、「これからの自己の生き方」について考える機会としている。

キ 「認知症サポーター養成講座」の実施

例年、1年生を対象に「認知症サポーター養成講座」を実施している。認知症にかかってしまった人の尊厳を守りながらサポートすることの大切さ、そのための方法について講話をいただいた。

ク 「日立風流物体験」の実施

1年生、2年生を対象に「日立風流物体験」を実施した。本校学区の北町、本町、西町、東町各地区の地域の方々から、1年生は人形の説明や人形劇の鑑賞、2年生は人形操作や劇の実演を行った。体験活動を通じて、郷土の伝統を守ることの大切さや、その活動が地域の人たちの喜びに変わっていることを教えていただいた。郷土の伝統や関わる人たちの思いを知ることによって郷土への誇りが深まり、生徒の自己肯定感が高まる機会となっている。

ケ 生徒指導部員会の開催

毎週一回、生徒指導部員会（校長、教頭、生徒指導主事、各学年生徒指導担当、特別支援コーディネーター、養護教諭、教育相談員）を開き、いじめや問題行動について情報交換を行っている。共有した情報や検討した内容を各学年に伝達し、全職員で共通理解を図ることで、生徒の人権を守るための環境整備をしている。



【日立風流物体験の様子】

4 成果

教育活動全体を通して人権意識の育成を図ってきた。生徒会を中心とした、あいさつ運動により、生徒から元気にあいさつができるようになってきている。また、教師と生徒間だけでなく、生徒同士でもあいさつをする姿が当たり前になってきている。

授業実践では、道徳や学級活動、社会科などを中心に、生徒が人権に対する知識や理解を深めることができた。昨年度、各教科で積極的に「話し合い活動」を取り入れることによって、周囲の思いや考えを知り、認め合うよい機会となった。

毎年、学区内のボランティア活動に積極的に参加することで、地域の人々の思いにふれ、地域を大切にしようという思いを高まっている。また、総合的な学習の時間の取り組みである「日立風流物体験」や避難訓練などに、地域の方に足を運んでいただき一緒に活動することを通して、人々との絆を深め、地域に住む一人の人間としての自覚を高め、郷土を愛する心を育成することができた。

II 今後の課題

進んであいさつができる生徒が増えているが、登下校時以外ではあいさつができない生徒も見られる。必要な場面でしっかりあいさつをする習慣を身に付けさせていきたい。

例年、多くの生徒は、学区内のボランティア活動に積極的に参加していた。しかし、今年度は多くのボランティアが中止となり、1年生の多くの生徒は、ボランティアへ参加したことがない状況となっている。ボランティア活動が再開した時に、また、以前のようなボランティア活動への雰囲気が出るように活動内容の紹介など適宜声掛けを行いたい。加えて、人権についての授業を各教科で実施し、教科横断的な視点で人権教育を推進していくと共に、実施だけでなく振り返り活動を充実させていくことが今後の課題である。

III 人権コーナーの設置の様子

本校は教科教室型を採用していることを生かし、社会科教室付近の掲示スペースの一角に設置している。現在は社会科の授業と関連づけて、「人権の歴史」や「人権教育について」紹介している。「人権の歴史」では、人権思想が台頭した時代のことから、日本に人権と民主主義が確立するまでの経緯や出来事、日本国憲法内の条文などを紹介している。「人権教育について」では、人権教育で身につけたい力について、紹介している。



【人権コーナー全体の写真】